

ずし男女平等参画プラン2030

－ 2025 年度実施状況報告書 －

2026 年(令和8年) 9月

逗子市

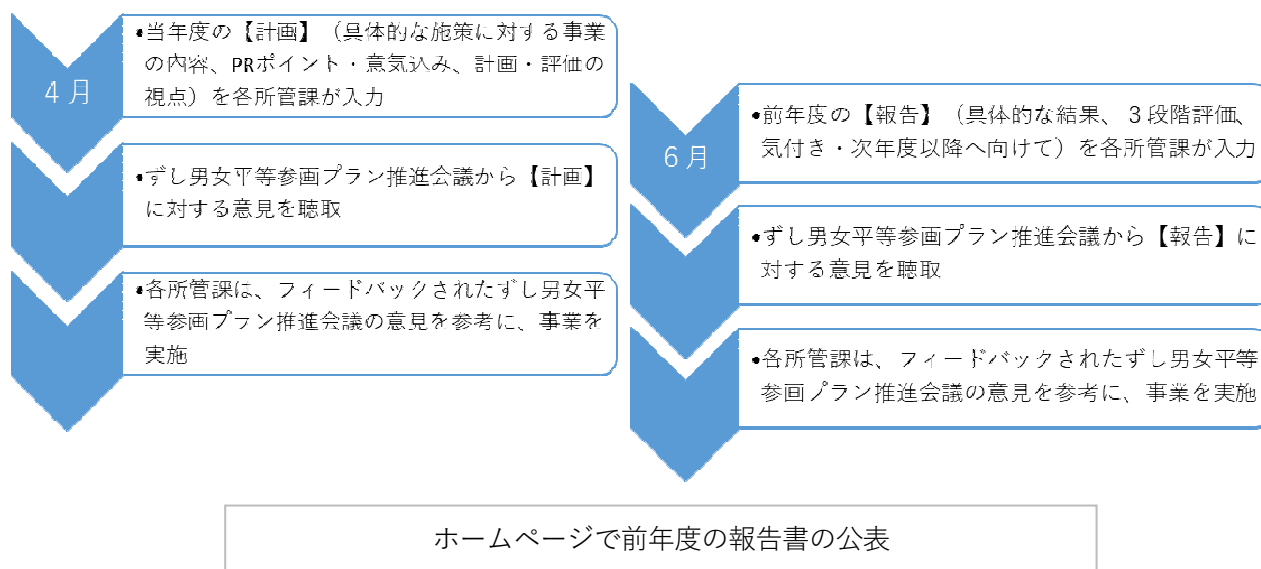
はじめに

逗子市では、2022 年(令和4年)10 月1日に「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を制定しました。また、男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画「ずし男女平等参画プラン 2030」を 2023 年(令和5年)3月に策定し、様々な施策に取り組んでいます。この報告書は、「ずし男女平等参画プラン 2030」の進捗状況について公表するものです。すべての人が性別による役割分担意識に基づく社会制度や慣行にとらわれることなく、多様性を認め合い、自分らしく生きることができるよう、男女平等参画及び多様性を尊重する社会の実現に向けて、取り組んでいきます。

進捗管理

「ずし男女平等参画プラン 2030」は、「めざす社会」と「基本目標」、それを実現するための「施策の方向」、「具体的施策」、その「内容」により体系化されています。進捗管理については次ページの計画・評価の視点を踏まえ、「ずし男女平等参画プラン 2030 推進計画・実施状況報告書」により、推進計画と実施状況報告の 2 段階で進捗管理を行います。これにより、計画・評価の視点を各所管課と共有するとともに、各所管課は、ずし男女平等参画プラン推進会議からの意見を参考に事業を実施し、プランの推進を図ります。

計画・報告の流れ



ずし男女平等参画プラン 2030 推進計画・実施状況報告書

計画・評価の視点

視点1

「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」第3条の基本理念に基づいているか。

1	【人権の尊重と暴力の根絶】 全ての人々が、性別等にかかわらず個人として尊重され、あらゆる暴力及び差別的な扱いを受けることがないこと。
2	【多様な生き方の選択】 全ての人々が、性別による役割分担意識に基づく社会制度や慣行にとらわれることなく、個性及び能力を発揮し、自らの意思により多様な生き方を選択できること。
3	【あらゆる分野への男女平等参画の促進】 全ての人に、社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動方針の立案及び決定に平等に参画する機会が確保されること。
4	【ワーク・ライフ・バランスの実現】 全ての人々が、性別に関係なくワーク・ライフ・バランスを実現できること。
5	【生涯を通じた心身の健康づくり】 全ての人々の妊娠、出産等の性と生殖に関して、個人の意思が尊重され、生涯にわたり健康な生活を営むことができること。
6	【国内及び国際社会の取組との協調】 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進は、国内及び国際社会の取組と密接に関連していることから、それらの取組と協調して行われること。

視点2

ア	ジェンダー平等の視点 (例)男女のバランスが不均衡になっていないか、男女で機会に不平等がないか、ジェンダーバイアスを生み出す広報になっていないかなど。
イ	多様な性の視点 (例)性的マイノリティの存在も想定されているか、性的マイノリティが参加しづらいものになっていないか、性的マイノリティに対する差別や偏見を助長する広報になっていないかなど。

目 次

基本目標Ⅰ 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり

- 1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり1
- 2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進8

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進

- 1 政策、方針決定の場への女性の参画促進12
- 2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進14

基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- 1 多様性に配慮したまちづくり 17
- 2 障がい者、生活困窮者への支援21
- 3 子育てへの支援23
- 4 生涯を通じた心身の健康づくり 26

基本目標Ⅳ 誰もが活躍できるまちづくり

- 1 雇用における男女平等の実現 30
- 2 女性が活躍する環境づくり34
- 3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発36

基本目標Ⅴ あらゆる暴力の根絶

- 1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組40
- 2 DV被害者の安全確保43
- 3 相談体制の充実48

プランの数値目標50

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	1
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	男女平等、多様性尊重の意識を高めるための啓発		
内容	講座や研修などを開催し、あらゆる分野において男女平等や性自認、性的指向により差別されることのない多様性尊重の社会を目指し、意識を高めるための様々な人権啓発活動を行います。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 男女平等参画啓発講座の開催 2. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架 3. 庁内および関係施設でのポスター掲示、チラシの配架により、相談先情報やイベント情報の提供を行う 4. 逗子市HPの充実			1. 男女平等参画啓発講座の開催 ・子どもの護身法講座（開催日7/5(土)、参加者数26名（大人13名、子ども13名）、アンケート結果 大いに満足、満足…90.9%） ・仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座（開催日12/7(日)、参加者数24名、アンケート結果 大いに満足、満足…100%） ・デートDV予防ワークショップ（開催日2/18、3/3、参加者数公立中学2校計212名、アンケート結果 とてもためになった、ためになった…84.9%） 2. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架（交流センター、沼間・小坪コミュニティセンター、市役所内2箇所 計5箇所及び講座内での配布） 3. 相談先情報やイベント情報の提供（ポスター掲示、チラシ配架、SNS発信等） 4. 市HPの充実 県のイベント、内閣府の男女平等参画関係イベントや広報誌を掲載。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
啓発パンフレットは庁内及び市内各施設に配架します。また、令和6年度より、内閣府発行の「共同参画」を逗子市HPに掲載し、また、職員に対しても全庁掲示板を通して周知しています。 講座の開催、各種情報は市民協働課にて配架するとともに、積極的にHPへ掲載し内容を充実させることで、市民や事業者向けの啓発を行っていきたい。	1	ア イ	A	イベント情報の提供はSNSを積極的に利用した。 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットについては、男女平等参画啓発講座等での配布やHPへ掲載することで広報していく。
	2	ア イ	A	
	3	ア イ		
	4	ア イ	A	
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

結果に期待しています。報告ではパンフレットの配架をどの程度増やしたか記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会教育課	整理番号	1
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	男女平等、多様性尊重の意識を高めるための啓発		
内容	講座や研修などを開催し、あらゆる分野において男女平等や性自認、性的指向により差別されることのない多様性尊重の社会を目指し、意識を高めるための様々な人権啓発活動を行います。		
事業名	人権教育等事業	当初 予算額	805 千円
事業の目的	市民を対象とし、人権問題に正しい理解と認識を深める。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
視点1 性別に起因する身近な人権侵害（いじめや、無視、セクシャルハラスメント等）が、心へ与える致命的な暴力であることへの理解を深めるような講座を行う。 視点2 多様な性の視点から、性的マイノリティの人々が特別な存在ではないこと、自分の性自認を素直に表現していくことが難しい世の中であることを伝えていく講座を開催する。			○「チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもに、きみはチョコレートをあげるか？」 概要：児童労働や貧困問題の現実を知り、国際社会の構造的な問題を理解し、その解決のためのすぐにでもできる行動について学ぶ。 開催日：12/18、場所：逗子中学校、参加者：95名、アンケート結果：満足度72%(平均) ○「ホンモノの手作りチョコレートワークショップ」 概要：カカオから本物のチョコレートを作ります。普段、当たり前前に食べているチョコレートの裏にある児童労働や国際協力について考える。 開催日：12/25、場所：逗子小学校、参加者：15名、アンケート結果：満足度92%(平均)	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
学校教育との連携や、参加型（ロールプレイ型）講座の開催を視野に、講座のスタイルに新機軸を求める。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	人権教育や普及啓発は、積極的な仕掛けをしないと多くの人に届かない。まずは、従前の講座の枠を超えて、場所を小中学校で開催したことに意義があった。学校教育と社会教育の連携は今後も積極的に推進したい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

結果に期待しています。報告では「新機軸」な講座のスタイルについてどのような講座を実施したのか記載をお願いします。	来年度はより男女平等や性の多様性の視点も意識したイベントの開催を期待します。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	2
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	行政刊行物等における適切な表現		
内容	市から情報発信する刊行物、ホームページ、ちらし、パンフレット等において、男女平等参画の視点から適切な表現への配慮に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
庁内に市民協働課から取扱いについて周知することを検討			人権・男女平等参画係からの情報発信については、男女平等参画の視点から適切な表現へ配慮して作成した。 また、委託して行う講座においては、講座内で使用する資料やスライドを性差がわからないようなイラストに変更している。また、「彼氏」「彼女」という呼称について、性の多様性という視点から呼称を変更する、または講座内の劇においてこの呼称を使用する補足説明をしている。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
市からの情報発信が男女平等参画の視点から適切な表現となるよう、継続的に呼びかけていけるような方法を検討したい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	人権・男女平等参画係からの情報発信だけでなく庁内各課に適切な表現を呼びかけるには、ガイドラインの作成及び周知が効果的と考えるので、令和8年度に作成したい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

結果に期待しています。紙媒体での通知など毎年の周知が大切です。報告では取り組んだ内容の記載をお願いします。	ガイドラインの作成と周知をよろしくお願いします。
---	--------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	3
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		
事業名	職員研修事業	当初 予算額	1,061 千円
事業の目的	市職員への研修		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
当年度は実施予定なし。			職員に向けて、「男女平等参画及び多様性を尊重する意識を高めるための研修」を市民協働課と共同で実施した。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
	1	☒ ア ☒ イ ☒	A	引き続き市職員への研修を実施していく。
	2	☒ ア ☒ イ ☒	A	
	3	☒ ア ☒ イ ☒	A	
	4	☒ ア ☒ イ ☒	A	
	5	☐ ア ☐ イ ☐		
	6	☐ ア ☐ イ ☐		



↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった



ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

他課との共催もありと考えます。必要なことです。ぜひ実施してください。 どのような研修においても、男女平等参画の視点を入れていただきたいです。	来年度の研修の実施を期待します。
---	------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	3
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 内閣府発行の「共同参画」を全庁掲示板に掲載し、職員に啓発を行う 2. 職員向けの研修（動画視聴を含む）の実施を検討			・令和6年度より、内閣府発行の「共同参画」を毎月全庁掲示板に掲載し、職員に啓発を実施している。 ・職員向けの研修として、啓発用DVD「ハテナを分かち合い、カラフルを分かり合う」を使用した動画研修を、全職員を対象として実施し、2月13日～3月末までの期間で、計485人が受講した。 DVDの内容は、「世代間ギャップ」「アンコンシャス・バイアス」「多様な性」「こころの病気」「部落差別」など複数のテーマを含んだもので、幅広い啓発ができた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
令和6年度より、内閣府発行の「共同参画」を全庁掲示板に掲載し、職員に周知している。 男女平等参画連絡調整会議や行政課題研修等、職員に研修を実施したい。	1	ア イ	A	来年度も継続して研修を実施する。 社会状況の変化を踏まえて、毎年テーマを変えて研修を実施していきたい。
	2	ア イ	A	
	3	ア イ	A	
	4	ア イ	A	
	5	ア イ		
	6	ア イ	A	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

市から発行されるものについて、人権チェック表があると望ましいです。重点的に注意する事項について、周知をお願いします。	全庁掲示板へアクセスできない職員に向けた周知も工夫をお願いします。
--	-----------------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	障がい福祉課	整理番号	3
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		
事業名	障がい者権利擁護事業	当初 予算額	202 千円
事業の目的	障がい者の虐待防止や権利擁護の普及啓発、障がい者の差別解消に資する活動を行うもの。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
虐待防止・権利擁護研修会の開催 職員研修の実施 学識経験者等をアドバイザーとする障がい者差別解消支援地域連絡会を実施することによる支援ネットワークの構築			市民や事業者に向けて、障がい者の権利擁護啓発講演会を開催し、26人の参加があった。内容は合理的配慮の提供について。 全市職員に対して、動画による研修を実施した。内容は、不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供について。この他に合理的配慮の提供に関する対面での研修を実施し、42人の参加があった。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
虐待防止・権利擁護研修会については性別に関係なく参加しやすい題材となるように検討していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	次年度以降も同様の事業を実施していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。	市民に向けての講演会が、より若い人たちに向けても実施されることを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	4
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	男女という枠組みが前提の考え方（性別二元論）にとらわれないよう、多様な性への理解を深める取組を行います。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 2. デートDV予防ワークショップの開催 3. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架			1. 逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 令和7年度宣誓数3件、累計宣誓数17件 2. デートDV予防ワークショップの開催 開催日逗子中2/18、久木中3/3、参加者数2校計212名 （講座内でパートナーは異性に限られないことを伝えている。） 3. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架 配架場所数2（交流センター、沼間・小坪コミュニティセンター、市役所内2箇所 計5箇所及び講座内での配布）	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
逗子市パートナーシップ宣誓制度は、性的少数者だけでなく、事実婚や養子縁組のパートナー同士の宣誓も受け付けており、対象者を広く設定しています。 デートDV予防ワークショップでは、デートDVは婚姻関係にないカップル間で起こる暴力だが、カップルが男女の関係だけでないことを前提として説明します。	1	ア ☒ イ ☒	A	プライド月間及びパートナーシップ宣誓制度の周知のため、令和8年度は6月広報誌に記事を掲載します。
	2	ア ☒ イ ☒	B	
	3	ア ☐ イ ☐		
	4	ア ☐ イ ☐		
	5	ア ☒ イ ☒	B	
	6	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

デートDV講座は、多様な性を前提としたもの、親世代からも受け入れられるような内容を引き続き目指してほしいです。結果に期待しています。	市職員への制度自体の周知も意識をして実施してください。
---	------------------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	5
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	人権教育の推進		
内容	児童、生徒に性別にとらわれない男女平等や多様性尊重に向けた人権教育を推進します。また、幼少期から意識啓発を行います。		
事業名	性教育	当初 予算額	千円
事業の目的	性について正しい知識を持ち理解を深められるようにする。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
各学校で「性教育全体計画」を作成し、各教科の学習内容と関連させながら実施			保健体育科の授業を通して、体の発育や心の発達について理解をはかったり、道徳教育を推進しながら男女の平等や多様性について意識する機会を設けた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
小中学校で性教育アドバイザーを講師にお招きし、児童生徒の発達段階に応じた内容の性教育の講演、教員向けの講演、保護者向けの講演をしていただいている。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	人権教育、道徳教育を意識ながら、各教科の中で取り扱えるように意識付けしていく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。	どんな内容で実施したか、どんな資料を使ったのか等、具体的な内容の報告をお願いします。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会教育課	整理番号	5
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	人権教育の推進		
内容	児童、生徒に性別にとらわれない男女平等や多様性尊重に向けた人権教育を推進します。また、幼少期から意識啓発を行います。		
事業名	人権教育等事業	当初 予算額	805 千円
事業の目的	市民を対象とし、人権問題に正しい理解と認識を深める。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
視点1 人権啓発用パンフレットの製作、印刷（3,000部程度）配布先は市立小中学校、対象は生徒・教職員等			○人権啓発リーフレット「STOP!!ザ・スクールハラスメント」 製作部数：3,000部 内容：「スクールハラスメント」を題材に、意図的かつ悪意がある行為はもとより、無意識なもの、悪ふざけや、この程度なら許されると思い込んで行うイジメやからかいがあること、誰もが被害者または加害者になる可能性があることを示した。 周知：市庁舎窓口のほか、市民交流センター等主要公共施設に配架。市立中学校生徒（全学年）、市立学校全教職員等に配付。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
無自覚で引き起こされる身近な人権侵害の中から、ジェンダーバイアスが要因となっている部分にスポットをあて、パンフレットを手にした生徒、教職員等の「気づき」を促す。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	スクールハラスメントを扱った生徒向けの完全オリジナルリーフレットは県内でも非常に少ない。 このリーフレットでは、我慢しないで声をあげることが解決の重要なヒントであることを示した。今後の学校で教材として使われるよう連携していきたい。 次年度は、人権施策推進指針と関連した内容で検討していきたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかつた

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。ぜひ良いパンフレットを作ってください。	リーフレット内のイラストの採用に注意を払って作成をお願いします。
--	----------------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	6
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	多様な性を尊重する意識を育てる教育の推進		
内容	多様な性を理解するための意識啓発を図るとともに、多様な性を尊重する意識を育てる教育に努めます。		
事業名	性教育	当初 予算額	千円
事業の目的	性について正しい知識を持ち理解を深められるようにする。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
各学校で「性教育全体計画」を作成し、各教科の学習内容と関連させながら実施			重点目標（一部抜粋） ・いやなことを言われたりされたりしたら、気持ちを言葉で言うようにしよう。 ・体の成長には、性差や個人差があることを知り、各人に適した健康な生活づくり務める習慣を身に付けさせる。 ・人間を尊重し、差別をなくすために自分たちに何ができるかを考える。 ・性に対する知識を深め、その正しい認識に基づいた判断力を育てる。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・小学校では、低・中・高学年ごとに重点目標を設定している。中学校では各学年ごとに重点目標を設定する。 ・講師を招くなどして、性についての正しい知識と多様な性を理解するための教育に努める。	1	☒ ア ☒ イ ☒	A	各教科の授業で関連させながら目標に向かって取り組むことができた。5の視点2アについても取り組めるように計画を見直す。
	2	☒ ア ☒ イ ☒	A	
	3	☐ ア ☐ イ ☐		
	4	☐ ア ☐ イ ☐		
	5	☒ ア ☐ イ ☒	A	
	6	☐ ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。 ぜひ5の視点2アについても意識して実施してください。また、報告では各学校における重点目標も記載をお願いします。	多様な性への理解を深める取組の推進を期待します。
--	--------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	7
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	教職員への研修		
内容	性別にとらわれない個人の人権を基盤にした人権教育のための研修を行い、教職員の男女平等及び多様性尊重意識の啓発に努めます。		
事業名	人権教育研修会	当初 予算額	千円
事業の目的	人権教育推進のための必要な知識を正しく理解するとともに、人間尊重の精神を基盤とした人権感覚の涵養を図る。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
人権教育研修会の開催 内 容 学校、学年、学級で行う人権教育 等 対 象 ・会場校教職員 ・各学校人権教育担当者 場 所 久木中学校			人権教育研修会の開催 『人権感覚を高めよう！～知る、感じる、考える～』 人権課題を社会全体の問題としてとらえ、教員として、一人の大人として人権感覚を高めた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・参加者に即した研修会となるよう研修テーマは会場校と事務局とで調整の上決定する。 ・夏季研修会に位置づけ、参加者を開催校に留めず、広く募集する。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	人権感覚の涵養と図るために、人権課題を吟味しつつ、次年度も実施していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。	来年度はもう少し具体的な報告をお願いします。
---	------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	8
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	1 政策、方針決定の場合への女性の参画促進		
具体的な施策	審議会等への女性の参加促進		
内容	市が設置する審議会等への女性委員登用を積極的に推進します。また、定期的に登用状況について調査します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
年1回審議会等委員における女性の割合について調査を実施			「逗子市審議会等への女性の参加促進に関する要綱」に基づき、委員数の40%以上を女性の委員にするよう努めるよう、調査の依頼時に周知した。 令和7年度調査結果：審議会数80 総委員数755名 うち女性委員数224名 比率29.7%	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
逗子市の審議会等委員の女性の参加促進に関する要綱第4条第1項に審議会等委員の選任に当たっては、当該審議会等の委員数の40%以上を女性の委員にするよう努めるものとする。と定めており、調査の際に全課に周知しています。	1	ア イ		次年度以降も継続して周知します。
	2	ア イ		
	3	ア イ	B	
	4	ア イ		
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	9
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	1 政策、方針決定の場への女性の参画促進		
具体的な施策	市女性職員の管理職の登用		
内容	女性管理職の確保を念頭においた人材育成を行い、女性管理職の登用を推進します。		
事業名	人事管理経費	当初 予算額	0 千円
事業の目的	男女共同参画による市政運営を推進する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
特定事業主行動計画に基づき、女性管理職の登用を推進する。 ・市の女性職員の割合が40%となるようにする。 ・管理職の女性職員の割合が30%を超えるようにする。			管理的地位にある職員に占める女性職員の割合は18.2%であった。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
女性職員の割合、女性管理職の割合の目標達成に向け人材育成を推進していく。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		引き続き、女性管理職の登用を推進する。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。 採用自体が困難な時代になってきていますが、バランスが良くなるような人材育成に期待しています。	目標値を絶対化せずに、引続き女性管理職の登用が増えるような施策の取り組みを期待します。
---	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	10
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	自治会等の方針決定の場への女性の登用		
内容	住民自治協議会や自治会、町内会等の方針決定の場への女性の積極的登用を促進します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
住民自治協議会や自治会、町内会等の役員会などの方針決定の場は男女共同参画の場が享受されている。			4 小学校区ある住民自治協議会においては、会長就任の男女比は50%である。 自治会、町内会については調査年時でないことから把握できていない。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
引き続き方針決定の場への啓発を継続していきたい。	1	☐	ア ☐ イ ☐	引き続き方針決定の場への啓発を継続していきたい。
	2	☐	ア ☐ イ ☐	
	3	☒	ア ☒ イ ☐	
	4	☐	ア ☐ イ ☐	
	5	☐	ア ☐ イ ☐	
	6	☐	ア ☐ イ ☐	

↑【評価】 A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

方針決定する女性の比率を増やすことが目標です。難しい目標ですが、必要な視点であることの周知もお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	11
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	家庭内における男女平等参画の促進		
内容	家庭内における家事、育児、介護などへの男女平等参画を推進します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」のパンフレットの配架 2. 職員向けの研修（動画視聴を含む）の実施を検討 3. 内閣府発行の「共同参画」を掲載する等、市HPを充実させる			1. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架の配架（交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、市役所内2箇所 計5箇所及び講座内での配布） 2. 男女平等参画及び多様性を尊重する意識を高めるための研修（動画視聴）は485名が受講。 3. 内閣府発行の「共同参画」の掲載を毎月行っている。また、市主催のイベントだけでなく、県主催のイベントについてもホームページに積極的に掲載している。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
啓発パンフレットは庁内及び市内各施設に配架し、HPへも掲載します。 市HPの内容を充実させ、市民や事業者向けの啓発を積極的に行っていきたい。	1	ア イ		男女平等参画及び多様性を尊重する意識を高めるための研修（動画視聴）で使用了動画では、「アンコンシャス・バイアス」もテーマの一つにあり、全庁的に啓発を行うことができた。引き続き啓発を進めていく。
	2	ア イ	A	
	3	ア イ		
	4	ア イ	A	
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑ 【評価】 A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかつた

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。報告では具体的な取り組みを記載してください。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。また来年度はより多くの方への周知もお願いします。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	11
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	家庭内における男女平等参画の促進		
内容	家事、育児、介護、就労体験などの体験的な学習活動の中で、性別による役割分担意識にとらわれることのない学習を推進します。		
事業名	キャリア教育	当初 予算額	千円
事業の目的	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
【各学校】 各教科及び特別活動の学習内容と関連させながら適宜実施			キャリアフェスティバル 職業人講話（企業、団体、個人によるブース形式で講話） ・32事業所を招いた。 ・対象は中学校2年生。生徒5～6人が事前学習で各事業所の仕事について調べ話を聞く事業所の方に向けて聞きたいことを用意した上で参加した。 ・ひとつのブースにつき40分×3ローテーション	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
各中学校に応じて、職場体験や就労体験、キャリアフェスティバル等を実施し、就労について学ぶ機会を設けている。	1	ア イ		働く大人とかかわる中で、大人としての話の聞き方や態度を身につけると共に、様々な人の考えに出会う中で知識を得た。また、勤労を通して、社会貢献に伴う喜びが自らの充足感となることを認識し、生きがいのある人生を実現しようとする意欲を高めた。
	2	ア イ	A	
	3	ア イ	A	
	4	ア イ	A	
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取り組みです。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では具体的な研修内容の記載をお願いします。	性別による役割分担意識にとらわれない内容でキャリアフェスティバルが実施されているかについて、報告をお願いします。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	防災安全課	整理番号	12
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	防災の分野における多様性の推進		
内容	防災分野において、多様性の視点を取り入れます。		
事業名	地域防災活動における多様性の推進	当初 予算額	0 千円
事業の目的	男女共同参画と多様性視点を生かした地域防災活動を推進する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
○多様性の視点を生かした地域防災力の強化を図る。 ・女性の防災士資格取得を促進 ○多様性に配慮した避難所運営となるよう、各小学校区における避難所運営委員会の構成やマニュアルづくりを推進する。 ・避難所運営委員会における女性の参画を促進 ・多様性の視点を取り入れた運営マニュアルの作成促進			・自主防災組織に対し、女性2名を含む、計7名の防災士資格の取得費用を助成した。 ・5小学校区の避難所運営委員会において、女性参画のもと定期的（月1回程度）に運営会議を開催したとともに、全区で避難所運営訓練を実施した。 ・自主防災組織マニュアルに、多様な性の視点を取り入れることで、共通認識を持つことができた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・自主防災組織に対する補助金において、令和6年度から新たに防災士資格取得費用を対象としており、引き続き資格取得を推進していく。 ・5小学校地区の各避難所運営委員会において、男女共同参画の必要性等について周知・啓発を行い、積極的に女性が参画できる組織づくり（委員会への参加）を推進していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	・防災士資格のメリット及び取得費用の助成制度等について、積極的に周知・広報を行っていく。 ・引き続き、各避難所運営委員会の運営会議や避難所運営訓練等を通じて男女共同参画の必要性等について、周知・啓発を行っていく。 ・逗子市の避難所運営マニュアルについて、多様な性を意識した改訂に取り組んでいく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

男・女という性だけでなく、多様な性についても意識した取組をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--------------------------------------	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	防災安全課	整理番号	13
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様性尊重の視点に立った災害時の対応		
内容	避難所における多様な性や男女の違いに配慮した災害備蓄品や環境等の整備を行い、運用において配慮をします。		
事業名	多様性尊重の視点を取り入れた避難所運営	当初 予算額	110 千円
事業の目的	災害時において、あらゆるニーズに配慮した避難所運営となるよう体制を構築する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
○男女の違いに配慮した災害備蓄品の整備を行う。 ・生理用品等の購入 ・マンホールトイレや携帯トイレを使用する際の目隠し用のポンチョ購入 ○多様性に配慮した避難所運営を目指す。 ・避難所運営職員（地震及び風水害時）の指定にあたっては、一方の性別に偏らない配置とする。			・前年度に引き続き、生理用品及び目隠しポンチョを購入し、マンホールトイレや携帯トイレ使用時のLED照明を購入した。 ・避難所運営職員の班編成においては、男女一組とし、一方の性別に偏らない配置とした。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・生理用品の増備のほか、防犯対策として、目隠し用ポンチョやトイレまでの経路用にLED照明を新たに備蓄していく。 ・風水害時の避難所運営の職員指定にあたっては、男女混合となるよう柔軟な対応がしやすい1班2名体制を確保した ・大規模災害時における避難所運営においても、男女混合配置となるよう計画している。	1	☒ ア ☒ イ ☒	A	・引き続き、生理用品等の災害備蓄品の購入を行っていく。 ・今後も、風水害時の避難所運営職員を男女混合にしていくとともに、地震時の避難所配置職員についても、男女混合となるよう調整していく。 ・多様な性を意識し、多目的トイレの整備、設置場所などについて検討していく。
	2	☒ ア ☒ イ ☒	A	
	3	☐ ア ☐ イ ☐		
	4	☐ ア ☐ イ ☐		
	5	☐ ア ☐ イ ☐		
	6	☐ ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

避難所の運営においては、男・女という性だけでなく、多様な性についても意識した取り組みをお願いします。（トイレが男女のトイレしか無いとしても、体育館のトイレは多目的トイレとする等、非常時に対応できるような取組を望みます。）	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	14①
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	パートナーシップ宣誓制度の周知をし、制度の改善や利用拡大を図ります。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
逗子市パートナーシップ宣誓制度の周知			逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 令和7年度宣誓数3件、累計宣誓数17件 パートナーシップ制度相互利用連絡会参加 2回	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
パートナーシップ宣誓制度手続きガイドブックを作成し、配布及びHPに掲載しています。 パートナーシップ宣誓は土日でも宣誓を受け付け、利用しやすい制度を目指しています。 制度の利用者を広げるため、県内自治体と都市間連携協定（手続きの簡略化が可能）の締結を目指します。	1	ア ☒ イ ☒	A	引き続きパートナーシップ宣誓制度を実施していく。制度開始から5年経っているため、ガイドブックの改訂も視野に入れている。また、6月のプライド月間に合わせた広報誌への掲載及び他市と連携しての周知（ポスターの作成、掲示）の予定あり。
	2	ア ☐ イ ☐		
	3	ア ☒ イ ☒	A	
	4	ア ☐ イ ☐		
	5	ア ☐ イ ☐		
	6	ア ☒ イ ☒	A	

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	14②
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	アンケートや申請書等から不要な性別欄を削除したり、統計調査の質問項目から削除したりすることなどを検討します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
市役所内のアンケート、申請書等の性別欄を把握するための調査を検討			市民協働課でのアンケート調査では性別欄を自由記載としているが、市役所内のアンケート調査までは至らなかった。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
削除するだけでなく、「その他」の項目を新たに設けるなど、複数の選択肢を例として提示したい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	各課が作成している調査も多岐に渡っており、性別の調査が必要なものもある。ガイドラインやチェックリストを作成し、その中で例を提示したい。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

性別欄が不要なものについては、性別欄を無くしても良いと思います。単にすべてを削除するのではなく、選択肢を増やす方針が良いと思います。	ガイドラインやチェックリストの作成を頑張ってください。
--	-----------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会福祉課	整理番号	15
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	2 障がい者、生活困窮者への支援		
具体的な施策	女性の経済的自立への支援		
内容	非正規雇用者は女性の割合が高く、社会情勢などによる影響を受けて経済的に困窮することは男性より女性に多い傾向があるため、女性の経済的自立への支援を行います。		
事業名	生活困窮者自立支援事業	当初 予算額	15,025 千円
事業の目的	現に経済的に困窮し、生活保護に至る前段階の者に対し、自立支援策の提供を行う		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
生活困窮者を対象とした自立生活に向けた相談、情報提供。また、必要に応じて当該生活困窮者の家計改善に向けた支援の実施。就職等困難な生活困窮者に対して、就労に必要な知識・能力等の習得に向けた支援の実施。離職等の事由により、住居を失ったもしくは失う可能性のある生活困窮者に対して、求職活動を行う等の条件により、基準に基づく給付を一定期間行う。また、条件に該当する者に対して低廉な家賃の住居に引っ越すための給付を行う。			①生活困窮者自立相談支援事業（社協委託事業） ・新規相談件数113件（女性56件、男性57件） ・継続相談件数37件（女性20件、男性17件） ・プラン継続件数15件（女性10件、男性5件） ②家計改善支援事業（社協委託事業） ・相談件数12件（女性8件、男性4件）	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
支援を必要とする生活困窮者の属性が多様化しているなかで、様々な窓口で相談を受け付けられるように体制を整えるとともに、支援が行き届かない人、支援を拒否するような人には、こちらからアプローチを行うアウトリーチ支援等、その人に応じた包括的な相談支援を多機関と連携・協働して実施していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☐	B	・高齢女性からの相談が多く、支援に繋がる割合も高い傾向にある。相談者の中には深刻化してから相談も少なくないため、早期相談支援への取り組みが引き続き重要である。 ・地域や社会との心理的な距離がある者・世帯は、困窮時に適切な支援を受けにくく、課題が深刻化しやすい傾向にある。こうした孤独・孤立状態の解消に向けた支援体制についても合わせて構築を目指す（つながりサポーター養成等）。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	障がい福祉課	整理番号	16
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	2 障がい者、生活困窮者への支援		
具体的な施策	地域生活支援拠点等の整備		
内容	障がい者等の重度化、高齢化や、「親亡き後」を見据え、居住支援のための5つの機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を備えた場所（拠点）を整備します。障がい者等の介護を行う家族等の病気や事故など「もしも」の緊急時に備えて関係機関が協力し、その生活を地域全体で支える仕組みをつくり、今の地域に安心して住み続けることができるよう、将来に対する不安の解消に努めます。		
事業名	障害者自立支援給付等支給事業	当初 予算額	1,096,986 千円
事業の目的	住まいの場における居宅介護などの訪問系サービスや、日中活動の場における機能訓練、就労支援などの通所系サービス、グループホームなどの居宅系サービスを提供する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
登録者増や利用促進のために自立支援会議や相談支援事業所への周知 利用の相談等が発生した際の対応			制度が始まって以来初めて緊急時の利用が2件あった。 1件目は、母親の入院の延長により家庭での介助の体制が整わず、生活介護事業所にて緊急時の受け入れをしたもの。 2件目は、交通事故によって父親が入院し、母もけがを負ったため、本人の介助ができない状態となったことを受け、生活介護事業所にて緊急時の受け入れをしたもの。 また、自立支援会議にて、地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討を行うとともに緊急時を見据えたシミュレーションを行った。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
登録・利用に性別の偏りが発生しないように、利用者向けのガイドラインのイラストを作成している。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	実際に2件緊急時の利用があったが、日頃から障害福祉サービスを利用していため宿泊することに抵抗感がなく、スムーズに対応することができた。 日頃から短期入所等の利用を勧め、緊急時に家族や本人が困らないよう、事前準備を整えておくことが必要。 次年度以降も同様の事業を実施していく。引き続き登録者を増やす方法等について検討していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。イラストを入れるという工夫について、とても良いアイデアだと思います。報告ではぜひ、工夫した点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	17①
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	父親と母親がともにする子育てのための啓発		
内容	家族形態や就労状況によらず育児情報が得られやすいことを目指し、オンラインでの子育て情報の発信に努めます。		
事業名	子育てポータルサイトえがおでの情報発信	当初 予算額	0 千円
事業の目的	返子で子育て中の母親・父親に対して子育てしやすい環境づくりのための情報提供を行う。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
・返子市の子育て事業やイベント・講座・健診についての情報発信を行う。 ・ずし子育てわくわくメールで赤ちゃん～高校生までのお子さんがあるご家庭を対象に、イベントや講座、健診など、お子さんの年齢に合った情報を毎月配信。			ずし子育てわくわくメールについて 令和7年度3月末時点の配信数 未就学児839名 小学生570名 中高生134名	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・子どもの年齢に応じて、必要な手続きや知りたい情報がスムーズに得られるようになっている。 ・えがおレポートでは、子育て中の市民レポーターが返子での子育て情報を市民目線で発信している。	1	□	ア □ イ □	・えがおHPでの情報発信は新規イベントやお知らせ事に都度更新、ずし子育てわくわくメールは月ごとの配信のため、鮮度の高い情報を提供している。今後も今の運用を継続する。
	2	□	ア □ イ □	
	3	☑	ア ☑ イ □	
	4	☑	ア ☑ イ □	
	5	□	ア □ イ □	
	6	□	ア □ イ □	

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 視点2のイ性的マイノリティへの配慮も意識して実施をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	17②
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	父親と母親がともにする子育てのための啓発		
内容	性別役割分担意識により母親に偏りがちな育児について、父親の育児時間の増加を促進します。		
事業名	パパママ準備クラス	当初 予算額	89 千円
事業の目的	妊娠期から身体面、精神面ともに健康に過ごせるように、臨床心理士、助産師、保健師が健康教育を行う。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
・教室の開催 パパママ準備クラス（First Step、Second Step、Third Step、Fourth Step）4コース4回/年実施予定。 ・YouTube動画配信 赤ちゃんのお風呂、離乳食（前期・中期・後期）の他、0～4か月頃の赤ちゃんの特徴や両親の心身の変化などを伝え、産後のメンタルヘルスについて伝える動画を配信予定。 ・全ての母子健康手帳発行時に父親向け子育て冊子を配付。			・パパママ準備クラス年17回実施（First Step、Second Step、Third Step、Fourth Step各4回に加え、臨時開催1回）。Second Step、Third Stepは定員を超える申し込みがあり、3回定員枠を増やして対応。それでも希望者数が上回り臨時開催1回。参加者数211人（初妊産婦109人・夫81人、経妊産婦4人・夫2人、その他15人）。 ・左記の配信に加え、赤ちゃんのおむつ交換の動画を新規作成。 ・全ての母子健康手帳発行時に父親向け子育て冊子を配付した。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・パパママ準備クラスでは、夫婦協働子育てについて育児経験のある男性臨床心理士が講義を担当。 ・父親向け子育て冊子は、イラストが多く読みやすい冊子を選択。 ・YouTube動画配信では、時間を選ばずいつでも内容を確認できる。	1	□	ア □ イ □	・パパママ準備クラス年16回実施予定（First Step4回/年、Second Step6回/年、Third Step6回/年）。参加者数の少ないFourth Stepは廃止し、対象者のニーズの高いSecond StepとThird Stepの回数を増やす。 ・赤ちゃんのおむつ交換の動画を令和8年4月から配信。 ・全ての母子健康手帳発行時に父親向け子育てポータルサイトを案内（子育てガイドに貼付）。
	2	□	ア □ イ □	
	3	☑	ア ☑ イ □	
	4	☑	ア ☑ イ ☑	
	5	□	ア □ イ □	
	6	□	ア □ イ □	

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 視点2のイ性的マイノリティへの配慮も意識して実施をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	18
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	子育て施設の父親の利用		
内容	父親が育児に関わる機会が増えるよう子育て施設の父親の利用向上を目指します。		
事業名	子育て支援センター運営事業	当初 予算額	19,985 千円
事業の目的	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域で孤立しがちで、子育てに悩みや不安をもつ母親たちに対して、身近で気軽に利用できる「支援拠点」の役割を果たすことによって、母親たちの孤立感・育児不安の軽減、解消を図るとともに、地域での育児をゆとりをもって楽しめる環境づくりを進めていく。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
イベント：お父さんの日 開催日時：毎月第1、第3土曜日 参加対象：父親とその子ども 実施内容：父親同士の育児に関する情報交換、またスタッフによる子育ての悩み相談を実施している。			令和7年度実績として 全22回開催 147組307人の参加 実施内容：父親同士の育児に関する情報交換、またスタッフによる子育ての悩み相談を実施。 ＊お父さんの日に合わせ、こども相談員、保健師、心理士が訪問し、質問に回答したり、相談対応を実施した。 実施：2回 参加父子：計16組34人	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・子育て中の父親の居場所としての提供 ・父親同士の育児に関する情報交換の機会の提供 ・母親との育児分担や育児についてなど、父親ならではの困りごとを幅広くアドバイザーが相談を受け付ける。	1	□	ア □ イ □	・他の父親と話せてよかった等の声が聞かれ、利用者から好評な取り組みである。主なトピックとしては育児・復職の悩み、母親のサポート等。引き続き事業を継続する。
	2	□	ア □ イ □	
	3	☑	ア ☑ イ □	
	4	☑	ア ☑ イ □	
	5	□	ア □ イ □	
	6	□	ア □ イ □	

↑ 【評価】 A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施をお願いします。 報告では参加人数の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会福祉課	整理番号	19
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	女性の健康寿命を延ばすための介護予防事業		
内容	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者（元気高齢者）の割合を増やすためには、高齢者全体の健康寿命の延伸が必要です。平均寿命が健康寿命であるとは限らず、日常生活に制限が生じる不健康な期間が男性より女性の方が長いことから、不健康な期間を短縮する取組として介護予防事業を行うにあたり、高齢女性の特性に十分配慮した取組を行います。		
事業名	・一般介護予防事業	当初 予算額	10,446 千円
事業の目的	要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者等に対して、要支援・要介護状態を防ぐための多角的な支援を行う		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
介護予防・日常生活圏ニーズ調査を実施、結果の分析を踏まえ介護予防施策に反映する。 介護予防教室を開催し、参加者に即した個別のカリキュラムを実施、運動機能等の維持向上を目指す。 虚弱化・運動機能低下等の傾向のある者を早期に発見し、対応するためのフレイルチェック測定会の実施。			・一般介護予防事業対象者向け事業 ①運動器の機能向上教室（ベーシックコース） 30回397人（内女性203人） ②運動器の機能向上教室（アクティブコース） 11回151人（内女性83人） ③運動器の機能向上教室（水中運動教室） 12回155人（内女性105人） ④認知症予防プログラム（脳活・筋活講座） 44回478人（内女性359人） ・フレイルチェック測定会 12回145人（内女性105人）	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
高齢者が住み慣れた地域で最後まで尊厳と生きがいを持って生活できる地域包括ケアシステムの理念に基づき、平均寿命 ≡ 健康寿命となるべく施策の実施。	1 ☒	ア ☒ イ ☐	B	本市の健康寿命・平均寿命は、男女ともに県・全国平均を上回っている。一方、平均寿命と健康寿命の差（要支援・要介護期間）は特に女性で長く、大きな課題である。 平均寿命と健康寿命の差を縮小させるため、フレイルチェック等の健康管理、運動器の機能向上を目指した運動に加えて、食事・口腔ケア・社会参加という取り組みも合わせて、一体的に実施していく必要がある。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑ 【評価】 A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	20
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	生涯を通じた女性の健康支援		
内容	性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する正しい知識の普及に努めるとともに、生涯を通じて適切な健康づくりができるよう、相談体制の整備等を行います。		
事業名	性と健康の相談（相談事業）、不妊治療費・不育症治療費助成	当初 予算額	2,508 千円
事業の目的	プレコンセプションケアを含め、男女問わず性と生殖に関する健康支援を総合的に推進し、ライフステージに応じた切れ目のない健康支援を実施する		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 個別相談対応 性や生殖に関する健康についての相談を個別に対応する。（死産・流産等を経験された方や不妊症・不育症に対する相談を含む） 2. 情報提供 ・母子保健事業（乳幼児健診・教室他）のなかで、チラシ等を用いた知識の普及、情報提供を行う。 ・神奈川県で実施している関連事業のリンクを市のホームページに掲載し、情報を得たい方がアクセスしやすい環境にする。 3. 不妊・不育症治療費補助制度 不妊治療や不育症治療を希望する対象者に対し、助成事業の情報提供や治療費助成事務を行う。			1. 個別相談対応 子どもの交際時の相談や距離の取り方、死産・流産等を経験された方や不妊症・不育症に対する相談などを個別に対応した。 2. 情報提供 ・母子保健事業（乳幼児健診・教室他）のなかで、チラシ等を用いた知識の普及、情報提供を行った。 ・神奈川県で実施している関連事業の案内を子育て支援課掲示板や関連施設で案内した。 3. 不妊・不育症治療費補助制度 不妊治療や不育症治療を希望する対象者に対し、助成事業の情報提供や治療費助成事務を行った。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・不妊に悩む夫婦、将来子を持ちたいカップル、身体的・精神的な悩みを有する女性等への相談指導や、不妊医療、妊娠・出産、女性の健康に関する医学的・科学的知見の普及啓発等を実施。 ・不妊、不育症治療を希望する者に対し、治療費助成を行い、妊娠・出産の選択を支援。	1	□	ア □ イ □	次年度も個別性に合わせた対応を継続していく。
	2	☑	ア ☑ イ □	B
	3	□	ア □ イ □	
	4	□	ア □ イ □	
	5	☑	ア ☑ イ □	B
	6	□	ア □ イ □	

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	21
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるま ちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	発達段階に応じた性教育の推進		
内容	性について正しい知識を持ち理解を深めるため、子どもの発達段階に応じた性教育の推進に努めます。		
事業名	性教育	当初 予算額	千円
事業の目的	性について正しい知識を持ち理解を深められるようにする。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
各学校で「性教育全体計画」を作成し、各教科の学習内容と関連させながら実施			性教育講演 目的：性についての正しい知識を身に付け、自分の体と命を大切にする気持ちを育む 対象：全学年、希望する保護者 講演内容：「体の成長」など 「体のこと」「デートDV」 「体のこと」「いのちのこと」など ※発達段階に応じて変える。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
小中学校で性教育アドバイザーを講師にお招きし、児童生徒の発達段階に応じた内容の性教育の講演、教員向けの講演、保護者向けの講演をしていただいている。	1	☒	ア ☒ イ ☒	継続できるようにする。
	2	☐	ア ☐ イ ☐	
	3	☐	ア ☐ イ ☐	
	4	☐	ア ☐ イ ☐	
	5	☐	ア ☐ イ ☐	
	6	☐	ア ☐ イ ☐	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、開催した講演について記載をお願いします。	児童生徒の発達段階に応じ、どのように講演内容を変えているのかを、具体的に報告をお願いします。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	保育課	整理番号	21
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	発達段階に応じた性教育の推進		
内容	性について正しい知識を持ち理解を深めるため、子どもの発達段階に応じた性教育の推進に努めます。		
事業名			当初 予算額 0 千円
事業の目的			

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
日々の保育の中で、プライベートゾーンについて子どもたちに伝えていく。			日々の着替えやトイレ、おむつ交換の際に乳児の頃からパーテーションを利用して、環境の工夫をしている。「水着で隠れている部分は、見ようとしても見せることも、触ろうとすることも触らせることもいけないこと」と正しい知識が持てるように伝えていく。性教育の関連の絵本なども使用して、子どもたちにも意識していけるようにしている。また、職員も性教育の研修に参加し、内容を共有している。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
絵本の読み聞かせなどを取り入れていく。 絵本を選ぶ際には、図書館の絵本はもちろん、今後購入する際にも、子ども達が理解を深めやすいものにする。 また、読み聞かせの手法についても理解が深まるよう工夫していきたい。	1	ア イ	B	次年度は、今年度も研修で得た内容より、どの場で意識していかなければいけないかを改めて考え話し合いをし、子どもたちに正しい知識を持てるように関わりをしていく。常に職員同士振り返り、保育の質も高めていく。多様な性についても日頃から、男女を決めつけない伝え方、声掛けを意識し、研修や専門的な本を共有し更なる学びを得るようにする。また、子どもたちへの意識も伝えていけるように絵本なども利用していくようにする。
	2	ア イ		
	3	ア イ		
	4	ア イ		
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑【評価】 A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	22
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	雇用における男女平等の推進		
内容	性別等にかかわらず募集、採用がされるなど、雇用の分野における男女平等を推進します。		
事業名	労政事業	当初 予算額	815 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
●ハローワークが発行する採用情報等を庁内へ配架し、広く周知する。 ●関係機関が発行する雇用の分野における男女平等に関する啓発チラシ等を庁内に配架し、啓発に努める。 ●事業者に対しても雇用の分野における男女平等が推進されるよう、周知啓発に努める。			来庁者の目に触れやすい場所にハローワークや男女平等に関するチラシ等を配架し、周知や啓発に努めた。毎週発行されるハローワークを約50部、また年間で約40種類のチラシを配架した。商工会へも情報提供を行い、会員事業所へ周知してもらった。雇用における男女平等の推進を図ることで、女性の自立支援に寄与した。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
ハローワークについては庁内ラックへの配架により幅広く情報提供に努めているほか、子育て支援課や障がい福祉課など関係各課の相談員等へ情報共有することで女性の就業支援などの情報源として役立てている。事業者への周知啓発に関しては、商工会と連携している。	1	ア イ		ハローワークは庁内ラックの他に、引き続き子育て支援課や障がい福祉課などへも情報共有し、情報源として活用していきたい。
	2	ア イ	B	
	3	ア イ	B	
	4	ア イ	B	
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告の際には、連携を行った具体的な内容の記載をお願いします。	チラシについて、女性向き、高齢者向きなど分類でも良いので、具体的な内容の報告をお願いします。また、事業者に対しての取組内容の報告をお願いします。
--	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	23
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	市職員の男女平等の推進		
内容	市職員の採用、昇進等は性別等にかかわらず能力によって行い、誰もが活躍できる職場づくりを推進します。		
事業名	人事管理経費	当初 予算額	1,887 千円
事業の目的	人事の適正配置		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
公正な職員採用、昇進等の推進。			公正な職員採用、昇進等ができた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
採用試験については、性別ではなく能力評価に基づく採用試験を引き続き実施していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	引き続き、公正な職員採用、昇進等の推進をする。
	2 ☒	ア ☐ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 プランの数値目標では「管理職の女性の割合が30%を超えている」とある。報告の際には女性管理職の割合の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	24
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	職場におけるあらゆる性差別解消の促進		
内容	職場における性差別の解消を進めるよう事業者への啓発を行います。		
事業名	労政事業	当初 予算額	815 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
●県や関係機関が作成する事業者向けの啓発チラシを庁内に配架する。 ●また、商工会へ情報提供を行い、会員事業所へ周知してもらう等、連携した支援を行う。			来庁者の目に触れやすい場所に事業者向けのチラシを年間で約40種類配架し、事業者への啓発に努めた。商工会や会員事業所等と連携した支援を進めた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
引き続き関係機関や商工会と連携し、必要に応じてセミナー等開催するなど、事業者への周知啓発に努めていく。	1	ア ☒ イ ☒	B	今後も商工会や関係機関と連携しながら、事業者への周知啓発に努めていきたい。
	2	ア ☒ イ ☒	B	
	3	ア ☒ イ ☒	B	
	4	ア ☒ イ ☒	B	
	5	ア ☐ イ ☐		
	6	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告の際には、具体的な取組内容の報告をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	25
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	労働条件の改善に対する支援		
内容	事業者に対し、労働関連法令及び各種支援制度等を周知し、労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供に努めます。		
事業名	労政事業	当初 予算額	815 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
●関係機関からの啓発チラシ等を配架し周知に努める。 ●労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供を図るため、かながわ労働センターと共催で街頭労働相談会を市役所1階ロビーにて開催し、性別に関係なく幅広い労働者が気軽に相談できる機会を提供する。			来庁者の目に触れやすい場所に、労働に関するポスターやパンフレットを掲示・配架し、労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供に努めた。 また、令和7年11月12日（水）にかながわ労働センターと共催で街頭労働相談会を市役所1階ロビーにて開催し、性別に関係なく幅広い労働者が気軽に相談できる機会を提供した。開催にあたり、市の公式LINEやホームページを活用した周知を行った。実績の内訳は、相談者12名（労働者5名、使用者0名、求職者他7名）	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
かながわ労働センターと共催で実施している街頭労働相談会においては、当日ブース前に各種労働相談に関するチラシやパンフレットを配架しており、相談以外にも、チラシやパンフレットの配布や関係機関の案内等直接専門員が行っているため、啓発としてもよりよいものとなっている（かながわ労働センター相談員2名体制）。	1	ア イ		街頭労働相談において、労働相談に関する約5種類のチラシやパンフレットの配布も行った。今後も労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けて、関係機関からのポスターやパンフレットを掲示し情報提供を進めていく。
	2	ア イ	B	
	3	ア イ	B	
	4	ア イ	B	
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告の際には、具体的な取組内容の報告をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	26
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	2 女性が活躍する環境づくり		
具体的な施策	就業、再就職への支援		
内容	情報の収集や提供を行い、女性の就業、再就職に対し支援を行います。		
事業名	労政事業	当初 予算額	815 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
●ハローワークが発行する採用情報等を庁内へ配架し、広く周知する。 ●関係機関が発行する女性を対象とした就労セミナーや雇用の分野における男女平等に関する啓発チラシ等を配架し、周知啓発に努める。			来庁者の目に触れやすい場所に、労働や男女平等に関するポスターやパンフレットを掲示・配架することで周知に努めた。また、毎週発行されるハローワークの庁内への配架により、採用情報等の周知に努めた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
ハローワークについては庁内ラックへの配架により幅広く情報提供に努めているほか、子育て支援課や障がい福祉課など関係各課の相談員等へ情報共有することで女性の就業支援などの情報源として役立てている。	1	ア イ		ハローワークは庁内ラックのほか、子育て支援課や障がい福祉課など関係各課へ情報共有することにより、女性の就労支援などの情報源として活用していきたい。
	2	ア イ	B	
	3	ア イ	B	
	4	ア イ	B	
	5	ア イ		
	6	ア イ		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	27
基本目標	Ⅳ 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	2 女性が活躍する環境づくり		
具体的な施策	女性の起業への支援		
内容	創業支援セミナーを開催し、女性の起業に対し支援を行います。		
事業名	逗子市商工会助成	当初 予算額	17,703 千円
事業の目的	市内商工業の振興等を図ることを目的に設立された団体を支援する		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
年齢や性別に関わらず幅広い参加者を対象とした逗子創業スクールを開催し、女性の起業に対し支援を行う。			創業スクール（全4回）を対面で実施するほか、オンデマンド配信動画でも視聴できるものとし、時間の制約がないことから幅広く参加いただけた。創業スクールの参加者数は男性55名、女性81名であった。対面での参加者数は59名、オンデマンド動画視聴者数は77名とオンデマンドの人数の方が多かった。起業実績は19件。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
ずしや商工会が発行する創業支援に関する機関誌「創業支援カフェ」において女性の起業家にスポットを当てた記事の作成に努めており、女性の起業に関する機運を高めることができている。 また、創業スクールは対面で開催するものとオンデマンド配信動画を視聴して受講するものの2種類を提供しており、オンデマンド配信においては時間や場所の制約がないため、より幅広く参加できるよう工夫している。そのため、女性のスクール参加者や起業家の比率を高めることができている。	1	ア	イ	年齢や性別に関わらず幅広く参加することのできる創業スクール等を通して、女性の起業家の比率を高めていくなど女性の起業に対する支援を行っていきたい。
	2	ア	イ	
	3	ア	イ	
	4	ア	イ	
	5	ア	イ	
	6	ア	イ	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 オンデマンド配信については、市が作成しているのか気になります。また、どのくらいの起業実績があるのか知りたいので、報告では記載をお願いします。	創業スクールの内容の充実と、企業実績がさらに進むことを期待します。
---	-----------------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	28
基本目標	Ⅳ 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	育児、介護、看護休業取得の促進		
内容	ワーク・ライフ・バランスが実現できるよう、育児、介護、看護休業制度について普及を図ります。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 全庁掲示板での啓発を検討 2. 市HPの充実			1. 男女平等参画及び多様性を尊重する意識を高めるための研修（動画視聴）は485名の視聴があった。 2. 内閣府発行の「共同参画」の掲載を毎月行っている。また、市主催のイベントだけでなく、県主催のイベントについてもホームページに積極的に掲載している。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
全庁掲示板での情報発信や、市HPの内容を充実させ、市民や事業者向けの啓発を積極的に行っていききたい。	1	ア □ イ □		次年度以降も、市のホームページを活用した市民や事業者向けの啓発を実施します。
	2	ア ☒ イ ☒	A	
	3	ア ☒ イ ☒	A	
	4	ア ☒ イ ☒	A	
	5	ア □ イ □		
	6	ア □ イ □		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	全庁掲示板へアクセスできない職員に向けた周知も工夫をお願いします。
---	-----------------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	29
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	育児休業取得の推進		
内容	市の男性職員の1ヶ月間を超える育児休業の取得を推進します。		
事業名	人事管理経費	当初 予算額	0 千円
事業の目的	育児休業の取得の推進		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
特定事業主行動計画に基づき、育児休業の取得を推進する。 ・男性職員の1ヶ月間を超える育児休業取得率を30%以上とする。			男性職員の1ヶ月間を超える育児休業取得率は、33.3%であった。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
育児休業の取得については、引き続き推進していく。	1	☐ ア ☐ イ ☐		引き続き、配偶者の出産を控えた男性職員へ個別に制度の周知等を行い、育児休業取得率の向上を推進していく。
	2	☒ ア ☒ イ ☐	B	
	3	☐ ア ☐ イ ☐		
	4	☒ ア ☒ イ ☐	B	
	5	☒ ア ☒ イ ☐	B	
	6	☐ ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、育児休業の取得率の記載をお願いします。	取得期間も報告をお願いします。
---	-----------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	30
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	様々な地域活動における参加機会の充実		
内容	誰もが等しくスポーツや地域活動、ボランティアに参加できるよう、参加の機会を提供します。		
事業名	地域活動センター運営事業ほか	当初 予算額	28,022 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる地域活動、ボランティア参加の機会を提供		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
地域が行うスポーツや活動、ボランティア活動など男女平等参画が享受されている。			地域活動、ボランティア活動ができるよう地域活動センターを維持管理し、参加の場所を提供している。 14箇所平均稼働率：21.8%	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
引き続き、市民活動の参加啓発を継続していきたい。	1	☐ ア ☐ イ ☐		・活動の場が継続的に確保されるよう、適時の修繕など維持管理に努める。 ・会館によって利用率の差が激しい。最大値：43.8%、最小値：0.4%。利用率によっては会館の集約、地域に移譲するなどの検討を行っていく。
	2	☒ ア ☒ イ ☐	B	
	3	☐ ア ☐ イ ☐		
	4	☐ ア ☐ イ ☐		
	5	☐ ア ☐ イ ☐		
	6	☐ ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

報告では、具体的な実績と、参加者の感想を記載してください。 誰でも参加できるようなイベントづくりの工夫をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	文化スポーツ課	整理番号	30
基本目標	Ⅳ 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	様々な地域活動における参加機会の充実		
内容	誰もが等しくスポーツや地域活動、ボランティアに参加できるよう、参加の機会を提供します。		
事業名	スポーツ推進事業	当初 予算額	24,182 千円
事業の目的	各種スポーツ活動を推進し、市民の健康な心とからだをつくる。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果		
1. 逗子市スポーツの祭典の開催 逗子市スポーツの祭典を開催し、子どもや高齢者、障がいのある人も、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるイベントとし、スポーツを通じた交流により、地域のスポーツ環境の活性化につなげる。 2. 各種スポーツ教室の開催（逗子市スポーツ協会補助事業） 指導者養成教室、ジュニアスポーツ教室を開催する。 3. 地域スポーツ大会の運営支援（逗子市スポーツ協会補助事業） 市内8地域によるファミリー運動会、地域対抗球技大会の開催への運営支援を行う。			1. 逗子市スポーツの祭典の開催・逗子市スポーツの祭典2025（開催日6/1、41種目実施、3,586人参加）を開催した。 【アンケート結果】 ・「スポーツの祭典がスポーツを始める（再開する）きっかけになると感じますか。」の問いでは、「思う」…68.7% ・「逗子市スポーツの祭典2025への感想・ご意見がありましたら、ご記入ください。」の問いでは、「様々な競技を体験出来て、運動を楽しむきっかけになりました。」「普段できないスポーツが体験できて良かったです。」「私は普段スポーツなどをあまりやりませんが、今回やってみて興味を持ったスポーツなどがありました。」等の回答があった。 2. 各種スポーツ教室の開催（逗子市スポーツ協会補助事業） 指導者養成教室（全8回、延べ195人参加）ジュニアスポーツ教室（8種目、延べ271人参加）を開催した。・地域スポーツ大会の運営支援（逗子市スポーツ協会補助事業）・市内8地域によるファミリー運動会（開催日9/20、28、10/5、11、18、19、3,294人参加）、地域対抗球技大会（開催日11/9、6種目（3種目雨天中止）、307人参加）への支援を行った。		
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気づき・次年度へ向けて	
スポーツイベントやスポーツ教室等を通じて、いきいきとした地域連携の輪を広げ、男女の区別なく、多様な人々・団体との交流を推進する。	1	□	ア □ イ □	・県立スポーツセンターや競技連盟、民間企業などの協力を得て、子どもから高齢者まで幅広い年代、家族でも楽しめるスポーツイベントとして「逗子市スポーツの祭典」を開催。年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツが楽しめるイベントとして、ポッチャやコーンホールなどの経験がなくても楽しめるスポーツを実施し、子どもから高齢の方まで多くの方に参加いただいた。 ・アンケートなどから市民ニーズを的確に把握して、運動する機会、スポーツに触れる機会が増えるよう、庁内関係課と施策間の連携を図りながら、イベントや教室等の質、量の充実を図るなど、効果的な事業実施に努めていく。	
	2	□	ア □ イ □		
	3	□	ア □ イ □		
	4	☑	ア ☑ イ ☑		B
	5	☑	ア ☑ イ ☑		B
	6	□	ア □ イ □		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

報告では、具体的な実績と、参加者の感想を記載してください。 誰でも参加できるようなイベントづくりの工夫をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	31
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	あらゆる暴力を防止するための啓発と情報提供		
内容	DVなどの暴力の根絶に向けた啓発活動や情報提供を行います。また、当事者ばかりでなく地域や関係機関の適切な対応が行われるよう支援します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. デートDV予防ワークショップの開催 2. 子どもの護身法講座の開催 3. 女性相談の実施における関係機関、関係課等との連携			1. デートDV予防ワークショップの開催 （開催日2/18、3/3 参加者数公立中学2校計212名、アンケート結果 とてもためになった、ためになった…84.9%） 2. 子どもの護身法講座の開催 （開催日7/5、参加者数26名（大人13名、子ども13名）、アンケート結果 多いに満足、満足…90.9%） 3. 女性相談の実施における関係機関、関係課等との連携を必要に応じて随時実施した。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
デートDV予防ワークショップでは、説明や使用するイラストが、暴力は男性がするというイメージのみを植え付けないように意識した内容にします。また、DV=身体的暴力という思い込みを防ぐため、暴力の種類（身体的、精神的、経済的、性的）を説明しています。また、講座内で相談先情報を提供しています。 女性相談は令和7年度より直営化。スムーズに相談が継続されるよう、本人の希望や必要に応じて、関係課機関や関係課へつなぐ際にケース説明を実施しています。	1	ア ☒ イ ☒	A	前年度から引き続き、デートDV予防ワークショップ、子どもの護身法講座を開催している。特にデートDV予防ワークショップを受講した中学生のアンケート結果を見ると「デートDVの意味を初めて知った」「暴力は身体的なものだけでなく、言葉の暴力も暴力含まれていることを知らなかった」という意見も多く見られた。あらゆる暴力を根絶するための啓発として有用であり、次年度以降も引き続き開催したい。 女性相談が直営化された。女性相談支援員が他課の職員と連携し、協力しながら相談者の支援につなげることができた。
	2	ア ☒ イ ☒	A	
	3	ア ☐ イ ☐		
	4	ア ☐ イ ☐		
	5	ア ☐ イ ☐		
	6	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	32
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	ハラスメント防止のための啓発		
内容	ハラスメントを防止するため、情報提供や周知、啓発、研修を実施します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 市民協働課窓口及び女性相談において相談先の情報提供を実施 2. 庁内及び関係施設でのポスター掲示、チラシの配架、全庁掲示板等での啓発 3. 市HPの充実			市民協働課窓口及び女性相談にて、相談者の希望に応じて法律相談や労働局の相談窓口を案内した。また、前年度に引き続き、内閣府発行の「共同参画」を市ホームページだけでなく庁内掲示板にも掲載している。加えて、職員向けの研修（動画視聴）を職員課と合同で実施し、職員485名の受講があった。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
相談先の情報提供だけでなく、多様な媒体での啓発を前向きに検討していきたい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	職員向けの動画研修は多くの人が受講できるので、引き続き行っていきたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		



↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった



ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	32
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	ハラスメント防止のための啓発		
内容	ハラスメントを防止するため、情報提供や周知、啓発、研修を実施します。		
事業名	職員研修事業	当初 予算額	1,061 千円
事業の目的	ハラスメントを防止するため、研修を実施する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
ハラスメント防止研修を実施する。			令和7年12月に職場におけるハラスメント防止のための研修（動画視聴）を実施した。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント、その他のハラスメント（マタニティ・ハラスメント、カスタマー・ハラスメント等）を防止する。	1 ☒	ア ☒ イ ☐	B	引き続き、ハラスメント防止研修を実施していく。
	2 ☒	ア ☐ イ ☒	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		



↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった



ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	研修動画のタイトルや、視聴人数を具体的に報告をお願いします。
---	--------------------------------

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	33
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の早期発見に向けた連携		
内容	配偶者、パートナーからの暴力（DV）や幼児、児童虐待の実態など、関係機関及び担当課との連携を図り、被害の早期発見に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
女性相談の実施における関係機関、関係課等との連携			関係課と連携し、相談が必要な方を女性相談へ繋いだり、女性相談から他課へ繋いだ。また、女性相談にて児童・高齢者・障がい者等への虐待が疑われるケースについては、関係課・関係機関等に通告・通報するとともに、連携した対応を行っている。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気づき・次年度へ向けて
女性相談は令和7年度より直営化。女性相談において関係機関や関係課に報告が必要な情報を得た場合には、迅速に報告します。必須でない場合も、本人の意思を確認し、関係課等の職員が相談に同席するなどして適切な場所に繋いでいきます。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	令和7年度から女性相談を直営化したことで、関係課との連携がスムーズになった。各課担当者を交えて相談を行うことや、支援の助言を得ることができている。引き続き関係課と連携して取り組んでいく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		



↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった



ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	33
基本目標	Ⅴ あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の早期発見に向けた連携		
内容	配偶者、パートナーからの暴力（DV）や幼児、児童虐待の実態など、関係機関及び担当課との連携を図り、被害の早期発見に努めます。		

事業名	逗子市こども家庭センター運営事業	当初 予算額	7,390 千円
事業の目的	母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを両輪として、切れ目なく、もれなく対応する		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
改正児童福祉法の施行に伴うこども家庭センターを運営。 1. 地域すべての妊産婦・子育て家庭に対する支援業務 ・研修・教室・講座・こども相談（訪問・面接・電話等） ・学校・保育園・家庭等訪問・乳幼児健診・教室他 2. 支援が必要な妊産婦や子育て家庭への支援業務 3. 地域における体制づくり ・逗子要保護児童援助ネットワーク会議・進行管理会議 ・サポートネットワーク会議 ・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター連絡会 ・主任児童委員連絡会・市・児相連絡会 4. ケースによってはサポートプランを作成			こども家庭センターを運営。 ・要保護児童119人 ・児童相談 延213人 ・子どもとの付き合い方講座、子どものICTとの付き合い方講座 計6回 延56人参加 ・逗子要保護児童援助ネットワーク会議・進行管理会議 14回 ・サポートネットワーク他会議 27回 ・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター連絡会12回 ・主任児童委員連絡会・市・児相連絡会 12回	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
・昨年度よりこども家庭センターを設置。 ・子どもの養育状況を確認する際、夫婦不和、DV、育児分担の偏りなどに遭遇する機会、相談を受けることがある。児童福祉法に基づきサポートプランを作成し、子どもの権利を守ることにとどまらず、大人の人権にも注視し、必要な支援に早期に繋げていく。	1	☒ ア ☒ イ ☐	B	・こども家庭センターでは、子育て中の夫婦不和により110番通報、児童相談所との同行訪問などの対応を開始するケースが複数ある。面前DVによる子どもの権利に侵害にとどまらず、大人の人権にも注視し、必要な支援に早期に繋げていく。
	2	☒ ア ☒ イ ☐	B	
	3	☐ ア ☐ イ ☐		
	4	☒ ア ☒ イ ☐	B	
	5	☒ ア ☒ イ ☐	B	
	6	☐ ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 視点2のイも意識した取組をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	34
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等緊急一時保護施設の確保と一時保護支援		
内容	DV被害者等緊急に保護を必要とする女性等に対し、保護施設を確保し、一時的に宿泊施設等に保護するための支援をします。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 女性相談の実施 2. 緊急一時保護用費用の支給（宿泊、食費、交通費） 3. 県、市、民間団体の3者の協働により、2施設で緊急一時保護及び中期的支援を実施（市は運営費用の1/3を負担）			1. 女性相談の実施 令和7年度相談件数 290件 2. 緊急一時保護用費用の確保（宿泊費、食費、交通費） 3. 県、市、民間団体の3者の協働により、2施設で緊急一時保護及び中期的支援を実施するための協定を締結	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
女性相談では緊急で避難が必要な相談者が来所した場合には、シェルターを始め、一時的にホテルへの避難や親族のもとへの避難など、様々な一時保護先について検討し、適切な保護先への避難を支援します。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	次年度以降も継続して、DV被害者等の安全確保のための支援を実施します。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		



↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった



ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	戸籍住民課	整理番号	35
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の個人情報の保護		
内容	住民基本台帳事務における支援措置（住民票の閲覧制限等）を行うときは、情報の管理を徹底し、被害者の安全を確保します。		
事業名			当初 予算額 千円
事業の目的	DV被害者等の個人情報を保護する		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
DV被害者等の現住所が加害者にわからないように支援を行う。住民情報系コンピュータシステム上で「住基支援申出」と登録され、関係各課において配慮を行うもの。 1 関係各課宛に戸籍住民課から取扱いについて周知している。 2 職員対象の情報セキュリティ研修において、資料の配布と説明を行っている。			1 関係各課宛に戸籍住民課から取扱いについて周知した。 2 職員対象の情報セキュリティ研修において、資料の配布と説明を行った。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
配偶者からの暴力、ストーカー行為等、児童虐待、これらに準ずる行為の4区分に分類し、性別や婚姻関係の有無を問わず、申出を受付、支援を行っている。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	支援措置の実施にあたっては、関係各課との連携や、丁寧な事前の聞き取りがより重要になってきている。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 個人情報の保護については、情報漏洩の無いよう、しっかり取り組んでいただくようお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	35
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の個人情報の保護		
内容	住民基本台帳事務における支援措置（住民票の閲覧制限等）を行うときは、情報の管理を徹底し、被害者の安全を確保します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
住民基本台帳事務における支援措置における相談機関としての聴取と承認事務の実施			住民基本台帳事務における支援措置届出書に係る確認を行った。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
女性相談では支援措置を希望する相談者に対し聞き取りを行い、支援措置以外の方法も含めて、相談者にとって最も安全な方法が選択できるよう支援します。 関係文書の扱いについては手渡しを厳守し、鍵付きの書庫に保管し、情報の保護を徹底します。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	次年度以降も情報の管理を徹底し実施します
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		



↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった



ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 個人情報の保護については、情報漏洩の無いよう、しっかり取り組んでいただくようお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	36
基本目標	Ⅴ あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	3 相談体制の充実		
具体的な施策	女性相談事業の充実		
内容	女性相談窓口を周知し、各部署や関係機関と連携を図ります。また、女性相談員の資質の向上とともに、適切な対応に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 相談窓口の周知（トイレ内への案内の掲示、案内パンフレットの配架、HPでの周知） 2. 女性相談員の研修の受講推奨			1. 前年度に引き続き女性トイレ、多目的トイレ内への案内の掲示（配架場所数32 市役所、交流センター、沼間・小坪コミュニティセンター、図書館、体験学習施設スマイル、逗子アリーナ、保健センター、療育教育総合センター、子育て支援センター） 2. 女性相談が直営化されたことにより、昨年度まで事務職員が出席していた研修に、女性相談支援員が出席することができた。	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気づき・次年度へ向けて
相談窓口の周知は市庁舎以外にも、市民交流センター・図書館・コミュニティセンター・体験学習施設スマイル・逗子アリーナのトイレに配置します。 女性相談は令和7年度より直営化となったため、相談員の研修受講を推奨します。	1	ア ☒ イ ☒	A	女性相談支援員の研修受講回数が、令和7年度は8件であった。 また、女性相談が直営化したことで、他課との連携もスムーズに行えるようになった。
	2	ア ☒ イ ☒	A	
	3	ア ☐ イ ☐		
	4	ア ☐ イ ☐		
	5	ア ☐ イ ☐		
	6	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2025年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	37
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	3 相談体制の充実		
具体的な施策	男性DV相談、性的少数者に関する相談		
内容	男性のDV相談や性的少数者に関する相談窓口等の情報の提供に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,625 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 相談窓口の周知（トイレ内への案内の掲示、案内パンフレットの配架、HPでの周知） 2. 市民協働課窓口及びホームページで相談先情報を提供			・市民協働課窓口及びホームページにて相談先情報の提供を行い、相談機関の紹介を行った。 ・前年度に引き続き、男性トイレ・多目的トイレ内への案内の掲示を実施。（配架場所数22 市役所、交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、図書館、体験学習施設スマイル、逗子アリーナ、保健センター、療育教育総合センター、子育て支援センター）	
PRポイント・意気込み	視点	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
相談窓口の周知は市庁舎以外にも、市民交流センター・図書館・コミュニティーセンター・体験学習施設スマイル・逗子アリーナのトイレに配置します。 相談先情報以外にも、講演会等のイベント情報等も積極的にHPへ掲載していく。	1	ア ☒ イ ☒	B	前年度と比較して新たな取り組みを行えてはいないが、情報をホームページに掲載するときに、SNSと連動させて多くの人の目に触れるよう努めた。引き続き情報を掲載する。
	2	ア ☒ イ ☒	B	
	3	ア ☐ イ ☐		
	4	ア ☐ イ ☐		
	5	ア ☐ イ ☐		
	6	ア ☐ イ ☐		



↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかつた



ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

各々の性によって、手に取りやすいデザインも異なると考えられる。そのような視点をもって取り組んでください。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

プランの数値目標

基本目標Ⅰ

	項目	現状値(現状 値調査年度)	2024 年度	2025 年度	目標 (2030 年度)
1	市民意識調査の結果において「平等」と感じる市民の割合が 50%を超えている。*1(市民協働課)	15.8% (2021 年度)	22.2% (2024 年度)	20.5% (2025 年度)	50% (2029 年度)
2	市民意識調査の結果において「男は仕事、女は家庭」に「賛成」「どちらかといえば賛成」と答える市民の割合が 20%以下になっている。*2(市民協働課)	26.70% (2020 年度)	26.70% (2020 年度)	26.70% (2020 年度)	20%

基本目標Ⅱ

	項目	現状値	2024 年度	2025 年度	目標 (2030 年度)
3	審議会等へ参加する女性の割合が 40%を超えている。 (市民協働課)	28.70% (2022 年度)	31.1% (2024 年度)	29.70% (2025 年度)	40%
4	自治会、地域団体等の女性役員、リーダーの割合が40%を超えている。(市民協働課)	22.08% (2022 年度)	24.0% (2024 年度)	24.0% (2025 年度)	40%
5	管理職の女性の割合が 30%を超えている。(職員課)	14.50% (2021 年度)	19.6% (2024 年度)	18.2% (2025 年度)	30%

基本目標Ⅲ

	項目	現状値	2024 年度	2025 年度	目標 (2030 年度)
6	市民意識調査の結果において「父母ともに主に子育てを行っている」と回答する人の割合が 100%になっている。*3 (子育て支援課)	57.0% (2019 年度)	84.2% (2024 年度)	94.1% (2025 年度)	100%
7	子育て支援センターにおける「お父さんの日」の来場者数を、年間 150 人以上にする。(子育て支援課)	未把握	307 人 (2024 年度)	307 人 (2025 年度)	150 人
8	子育て支援センターに来場する保護者のうち、30%以上が父親になっている。(子育て支援課)	未把握	10.5% (2024 年度)	12.1% (2025 年度)	30%
9	市民意識調査の結果において「LGBTQ 等の性的少数者について、言葉と意味を両方知っている」と回答する人の割合が 80%を超えている。*4(市民協働課)	62.40% (2020 年度)	62.40% (2020 年度)	62.40% (2020 年度)	80%

基本目標Ⅳ

	項目	現状値	2024 年度	2025 年度	目標 (2030 年度)
10	市男性職員の 1 ヶ月間を超える育児休業取得率が 30%を超えている。(職員課)	18.2% (2020 年度)	61.5% (2024 年度)	33.3% (2025 年度)	30%
11	創業支援セミナー参加者のうち、女性の割合が 50%を超えている。(経済観光課)	50.96% (2021 年度)	48.43% (2024 年度)	59.55% (2025 年度)	50%

基本目標Ⅴ

	項目	現状値	2024 年度	2025 年度	目標(2030 年度)
12	DV を受ける人を減らす。*5(市民協働課)	7.1% (2020 年度)	7.1% (2020 年度)	7.1% (2020 年度)	7.1%未満

*1 「逗子のまちづくりに関する市民意識調査」等の結果に基づく。(毎年度実施予定)

*2*4*5 「男女平等参画社会に関する市民意識・実態調査」の結果に基づく。(次回は令和 10 年度実施予定であり、以後 5 年ごとに調査予定)

*3 「逗子市子ども・子育て支援事業計画の策定に伴うアンケート調査(未就学児調査)」の結果に基づく。(次回は令和 5 年度に実施予定であり、以降5年ごとに調査予定)